

**【事業名】**

山あげ祭

**【団体名】**

山あげ祭実行委員会

**【期間】**

令和元（2019）年7月26日～7月28日（3日間）

**【参加人数】**

80,000人

**【内容】**

山あげ祭とは、約450年もの歴史と伝統を誇る烏山の山あげ行事は、2016年12月に全国の「山・鉦・屋台行事」33件のひとつとして、ユネスコ無形文化遺産に登録された。網代状に竹を組んだ木枠に烏山特産の烏山和紙を幾重にも貼り、その上に山水を描いた「はりか山」を、常磐津所作の舞台背景として人力であげることから、「山あげ祭」と呼ばれるようになった。観客の前に据えられた舞台から約100メートルの間に100名にも及ぶ当番町の若衆が一糸乱れぬ団体行動のなか、御拝・地車・座敷・波橋・館・前山・中山・大山を瞬く間に遠近よく配置。そして、常磐津の三味線と唄にのって、町の踊り子が踊りを披露する。これを1日5回程度場所を移動して3日間行う。

来訪者駐車場に障害者専用区画を設けた他、公演時に設置される座敷席に関し、見え易い場所に誘導するなど、障害者に配慮した。

外国人観光客に対し、英語で観光案内を行う英語ボランティアを配置した。

**【実施様子】**

